

2cm 以下の末梢型非小細胞肺癌における術式決定に関わる因子に関する多機関共同観察研究

1. 研究の対象

2017 年から 2023 年まで、国立がん研究センター中央病院呼吸器外科において、2 cm 以下の末梢型非小細胞肺癌に対し、手術を実施された患者さんで、治療開始時に年齢が 20 歳以上の方が対象となります

2. 研究目的・方法

肺癌診療ガイドラインでは、臨床病期 IA1-2 期の末梢型非小細胞肺癌に対する術式として、充実成分最大径/腫瘍最大径比に応じて、肺葉切除、区域切除、楔状切除を選択することが推奨されています。しかしながら、実臨床においては腫瘍径や実成分最大径/腫瘍最大径比だけではなく、患者さんの年齢や性別、病変の位置などを総合的に踏まえて術式を決定しております。そのため、同一の患者さんに対して、呼吸器外科医間や施設間で術式の選択に違いが出ることが予想されます。

本研究では、国立がん研究センター中央病院呼吸器外科で手術された腫瘍径 2 cm 以下の末梢型非小細胞肺癌症例を多施設で検討することで、呼吸器外科医が術式選択に際してどのような因子に留意しているかを検討することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床情報(年齢・性別・喫煙歴・併存疾患・呼吸機能検査)・画像所見また加工した CT 画像などを使用します。

4. 試料・情報の授受

情報の授受は、セキュリティ対策を施した上で行います。
具体的には、Microsoft Office365 により実施します。
対応表は、提供元機関の研究責任者が保管・管理します。

あなたのデータを含む研究に関するデータや情報について、現段階でどこの国に提供されるかは決まっていますが、提供先が外国の研究機関の場合には、その国でのプライバシー保護規定が定められていることを確認した上で、あなたを特定できる情報を含まない形にして提供いたします。

5. 研究組織・研究責任者

研究代表者（研究責任者）

国立がん研究センター中央病院 呼吸器外科医長 吉田幸弘

研究事務局

国立がん研究センター中央病院 呼吸器外科レジデント 上林明日翔

研究責任者

聖隷浜松病院 呼吸器外科 中村 徹

済生会横浜市東部病院 呼吸器外科 村岡 祐二

慶應義塾大学医学部 外科学(呼吸器) 鈴木 繁紀

埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器外科 菱田 智之

東京大学医学部附属病院 呼吸器外科 赤嶺 貴紀

島田市立総合医療センター 呼吸器外科 藤川 遼

日本大学医学部 外科学系呼吸器外科学分野 櫻井 裕幸

日本大学医学部附属板橋病院 呼吸器外科 河内 利賢

近畿大学医学部 外科学講座呼吸器外科部門 濱田 顕

和泉市立総合医療センター 呼吸器外科 須田 健一

鳥取大学医学部 呼吸器・乳腺内分泌外科学分野 藤原 和歌子

複十字病院呼吸器外科 平松 美也子

6. 利益相反

当院では、研究実施計画は鳥取大学臨床研究利益相反審査委員会で審査と承認を受けています。

7. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者

国立がん研究センター中央病院呼吸器外科 医長 吉田幸弘

2025 年 6 月 1 日 第 1.1 版
課題番号 ; 2025-095

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
TEL:03-3542-2511